

そよげ風

山口市立小郡小学校学校だより1月号

平成24年度No.9 (通算38号)

平成24年12月21日

「生きる力」について考える

校長 藤田辰夫

「生きる力」という言葉を何度も聞いたことがあると思います。現行の学習指導要領では、次のように規定されています。「変化の激しいこれからの社会を生きるために、確かな学力、豊かな心、健やかな体の知・徳・体をバランスよく育てることが生きる力となる」。確かに、今の子どもたちには、知・徳・体をバランスよく育てるのは大切なことではありません。しかし、今の子どもたちの様子を見てみると、単純に子どもたちだけを指導すればいいようなことではないような気がしています。

竹田津実さん、北海道で家畜診療所に獣医師として勤務し、その後、野生動物の診療に関わるようになり、キタキツネなどの野生動物の観察と撮影を始め、負傷した野生動物の保護及び治療、リハビリを行い、治癒した動物の野生復帰に力をつくしています。その著書に「野生は生きる力～アニマルドクター動物記～」というのがあります。この本の中で考えさせられた話を2つ取り上げます。

キタキツネは一度に3～5頭の子どもを産みます。子どものキツネは、自分で排泄ができないため母親がケアをします。1頭の子どもにうんちをさせたりおしっこをさせたりするのにおおむね4～6分時間をかけます。しかも時として毛をなめてやることもあるので、1頭にかける時間は7～9分ぐらい必要となります。したがって、次のケアが回ってくる30分から40分の時間が自分の時間なのです。すなわちお乳を飲んで眠るということをするのです。ところがたまたま1頭しか生まれないキツネがいました。母親は熱心に世話をしました。それゆえに、子キツネはお乳を飲むこともできず、眠ることもできず気づいたときには瀕死の状態でした。おそらく、母親は何一つ悪いことをしたと感じてはいないでしょう。ひたすら、親の愛情を注いだけであつたと思いますが、それが子どもの命を左右することになりました。

オーバーケアによる死、著者はそう名付けました。少子化の今、親の過干渉で子どもが自立ができない現象も起こっています。考えさせられる話です。

水鳥であるカモがおぼれました。親にはぐれた子ガモを初めて水にはなつたところ、ずぶ濡れになっておぼれたのです。実は、水鳥の羽毛には初めから水をはじくような機能があるわけではないようで、カモが水に浮くためには、自分のおしりのあたりから出る油をくちばしで全身に塗り込み、毎日毎日手入れをして水をはじくようにしていたのです。では、この子ガモたちはそれをなぜしなかったのでしょうか。この行為は、生まれつき身につけているものではなく、母親のする仕草をまねることで、自然に自分の生きる術を身につけていたのです。おぼれた子ガモたちは、幼いときに親とはぐれて、親の仕草をまねてその術を身につけることができなかつたのです。さらに、油だけではなく、母親の両翼に抱かれ、そこから出たり入ったりすることで、羽に静電気が帯び、さらに、水をよりはじくことができるようになっていたのです。

自然の仕組みのおもしろさを感じると同時に、人間社会でも、子どもたちに真似される行動、あたたかいふところ、それがないと子どもたちは本当に社会の荒波におぼれるかもしれせん。

「生きる力」を育む、文科省の定義も必要ですが、本当の意味で、子どもをどう育てていくのか、これらの話からそのヒントが見いだせそうです。

最近の行事から

避難訓練 11月27日(火)



災害から身を守るために、安全に速く決められた場所に避難できる能力や態度を養うことを目的として、避難訓練を実施しました。

全体の流れとしては、「非常ベル作動→110番通報→非常放送→避難開始(運動場)→避難完了→講評(校長)→消防署職員による水消火器を使った消火訓練」で、火災を想定して行いました。

水消火器とは、普通の消火器に水が入っているもので、6年生児童6名と本校教員4名が実際に水消火器を使って消火訓練を行いました。

訓練後、校長室で今日の避難訓練について、消防署職員から次のような指導がありました。・避難は速いほうで、他の学校と比べて話も少なかった。・ハンカチを持って避難する児童が少なかった。煙を体内に少しでも入れないようにするためにハンカチを使用できると良い。また、姿勢を低くしての移動に心がける。

火災は一瞬にして、人の命や財産を奪ってしまう非常に怖いものです。火災を発生させないように、ご家庭でも防火について児童とよく話し合ってみてください。

フルートとハープの演奏会 11月29日(木)



マイタウンスクール推進事業の一環としてフルートとハープの演奏会を開催しました。フルートの演奏者は、山田英人さん、ハープは川口三値子さんで、当日は10曲を演奏してくださいました。ここに児童の作文を紹介します。「今日はすてきな演奏を聞かせてくださってありがとうございました。フルートの演奏をきいて思ったことは、最初の『子犬のワルツ』や他の曲でも速いリズムのところもいねいに指が動いていてタンギングが上手ということです。すごいなと思いました。ハープはとてもやさしい音で、いやされました。シャープやフラット、ナチュラルをペダルでそうさすることを初めて知りました。後略」。感動あふれる演奏をありがとうございました。

校内持久走大会 12月4日(火)



体育や中間時間を使って練習に取り組んだ児童は、一人ひとりが目標をもってこの大会に臨みました。中には、自宅周辺で練習した児童もいました。ここに、1年生の作文を紹介します。「ぼくは1いになるためにおうちでいつもあさはしっているので、1位になれるかもしれません。1いになったらうれしいきぶんです。でも3いになるのはちょっとかなしいきぶんです。1

いになるためには、トレーニングがいるからいつもあさはしっています」。

寒い中、誘導係としてお手伝いくださいましたPTA役員の皆様方に感謝申し上げます。

第4回学校運営協議会 12月6日(木)



学校運営協議会は、保護者と地域住民が学校運営へ参加することにより、地域のニーズを学校教育に反映させ、地域の特性を生かした特色ある学校づくりを進め、地域に開かれた信頼される学校にしていくために設置されたものです。

この協議会は、地域から5名、保護者から2名、学校教職員から構成されています。当日は、学校の運営方針説明の後、協議をし、子どもたちの豊かな成長を願っての温かいご意見をいただきました。

・本校の図書室は大変充実していて、基準の蔵書冊数も満たしている。・図書ボランティアの活動が大変活発であり、子どもたちへの影響は大きい。・学力を向上させるには、基本的な生活習慣の確立も大事であること。・外遊びの足りない子どもたちが増えてきている。豊かな生活経験をさせていきたい。・教職員の多数退職を目前にし、人材育成が課題である。・小郡地区の小小連携、小中連携が大事である、等。

ご出席いただきました学校運営協議会委員の皆さんありがとうございました。今後とも出されたご意見を尊重しながら学校運営をしていきたいと思います。

・本校の図書室は大変充実していて、基準の

全校集会 12月7日(金)



縦割り班で楽しく協力しながら活動し、もっと仲良くなることを目的として、全校集会(校内逃走中)が実施されました。ここで運営委員の作文を紹介します。

「2学期の集会は校内逃走中をしました。私は運営委員会の一員として、昼休みを使って、みんなが楽しめるルールを作ったり、ミッションカードやポイントカードを作ったりしました。みんなが楽しめる集会を目標に一生懸命がんばって準備しました。集会当日、運営委員として校内を回ってみるとたくさんの人が笑顔だったので、とてもうれしくなりました。」

運営委員会を中心とした子どもたちのおかげで楽しい集会になったことを感謝します。

門松作り 12月15日(土)



校務事務さんの指導の下、PTAおやじの会のご協力を得て、門松が完成しました。

松・竹・梅・南天・ユズリハ・ハゼ・葉ボタンなどの縁起の良い物で飾り付けをしていきました。

門松は、昔から神が宿る安息所であり、また、神霊が下界に降りてくる時の目標物と考えられていました。

竹の長さは1.4m、3本ずつ竹を束ね、左右対称に配置し、その周りに縁起物の松、梅、南天、ゆずりは、葉ボタンなどを置いていき

ます。なお、竹は、青々として真っ直ぐに伸びる姿、節目、枝葉の正しいことから節操を象徴し、縁起の良いものとされています。子どもたちの応援もあり2時間程で完成しました。

☆ 1月の行事予定

☆ 2月の行事予定

日	曜	行 事 等	日	曜	行 事 等
8	火	始業式 給食開始 下校13:40	1	金	小郡中学校進学説明会
9	水	6年身体測定	5	火	全校朝会 ALT来校 代表委員会
10	木	給食集金日 5年身体測定 6年写真撮影	6	水	学友区児童会 全校地区別下校
11	金	4年身体測定	7	木	給食集金日
14	月	成人の日	11	月	建国記念の日
15	火	にこにこタイム ALT来校 3年身体測定	12	火	ALT来校
16	水	2年身体測定	18	月	委員会活動
17	木	スクールカウンセラー来校 1年身体測定 参観日(人権教育授業参観14:05~)教育講演会(15:00~) 学校運営協議会	19	火	入学児童就学説明会(午前) ALT来校
18	金	避難訓練(2校時)	21	木	スクールカウンセラー来校 参観日(14:05) 学級懇談会
21	月	PTAあいさつ運動 委員会活動 6年租税教室	22	金	市PTA連合会定例会
22	火	小郡中学校見学会(6年生)	25	月	クラブ活動
24	木	学年集金日 スクールカウンセラー来校	26	火	ALT来校 学校運営協議会
28	月	クラブ活動 出前授業(科学遊びクラブ)	28	木	全校計算大会
29	火	ALT来校			
30	水	薬物乱用ダメ。ゼッタイ。教室(6年5校時)			

子どもたちのがんばりが実を結んでいます！

【HP版学校だよりには、児童氏名を記載しておりません】

○ 山口県読書感想文コンクール

優良 1年 ○○ ○○

入選 3年 ○○ ○○

○ サイエンス山口2012山口県科学作品展

佳作 こおりのじっけん 3年 ○○ ○○

○ 第51回吹奏楽コンクール山口県大会 金賞

○ 第36回全日本アンサンブルコンテスト山口県大会

金賞 打楽器五重奏

金賞 サクソフォン四重奏

銀賞 木管七重奏

銀賞 金管八重奏

○ 第25回金子みすゞ賞童謡募集 佳作 5年 ○○ ○○

ボランティア学生による支援

将来教員を目指している山口学芸大学の7名の学生に、通常の学級や特別支援学級で学習面・生活面の支援をしてもらえることになりました。学生の勉強になるだけでなく、学校にとっても有り難いことだと思います。新しい出会いに感謝しています。